

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第6区分
 【発行日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【公表番号】特表2008-528389(P2008-528389A)
 【公表日】平成20年7月31日(2008.7.31)
 【年通号数】公開・登録公報2008-030
 【出願番号】特願2007-552137(P2007-552137)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 30/24 (2006.01)
B 6 5 D 81/26 (2006.01)
B 6 5 D 33/25 (2006.01)
B 6 5 D 33/00 (2006.01)
B 6 5 B 31/04 (2006.01)
F 1 6 K 15/14 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 30/24 Z
 B 6 5 D 81/26 C
 B 6 5 D 33/25
 B 6 5 D 33/00 A
 B 6 5 B 31/04 A
 F 1 6 K 15/14 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月12日(2008.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

貯蔵袋であって、

底縁、左側縁、右側縁および上縁を有する柔軟な第1の側壁と、

底縁、左側縁、右側縁および上縁を有する柔軟な第2の側壁と、

ここで、内部容積を画定するために、前記第2の側壁の底縁、左側縁、右側縁および上縁は前記第1の底縁、左側縁、右側縁および上縁とそれぞれ接合しており、

前記第1および2の側壁の上部のそれぞれに、取り付けられた第1および第2の噛み合い封止ストリップと、

ここで、前記第1の側壁は高い弾性の領域を含むもので、

該領域に取り付けられ、前記内部領域と連通する逆止め弁要素と、
 を含み、

前記領域は弾力的回復状態と弾力的拡張状態との間で調整可能であり、

前記領域は弾力的拡張状態にあるとき、前記第1の側壁から前記弁要素を離間させる、
 ことを特徴とする貯蔵袋。

【請求項2】

前記領域が、弾性的拡張状態にあるとき、前記内容容積と前記弁逆止め弁要素との間で連通する小室を画定する、請求項1に記載の貯蔵袋。

【請求項3】

前記領域内の第1の側壁の材料が第1の厚さを有し、前記第2の材料の第2の厚さを有

し、前記第 1 の厚さは前記第 2 の厚さより小さい、請求項 1 の記載の貯蔵袋。

【請求項 4】

前記領域内の第 1 の側壁の材料が第 1 の弾性率を有し、前記第 2 の材料の第 2 の弾性率を有し、前記第 1 の弾性率は前記第 2 の弾性率より高い、請求項 1 の記載の貯蔵袋。

【請求項 5】

前記第 1 の側壁および前記第 2 の側壁が異なる材料で構成された、請求項 1 に記載の貯蔵袋。

【請求項 6】

前記領域が、さらに、前記第 1 の複数の領域と第 2 の複数の領域で構成され、前記第 2 の複数の領域は前記第 1 の複数の領域より隆起したリブとして形成された、請求項 1 に記載の貯蔵袋。

【請求項 7】

前記領域が、前記第 1 の側壁と実質的に同じ広がりをもつ、請求項 1 に記載の貯蔵袋。

【請求項 8】

前記領域が、弾性的拡張状態にあるとき、ほぼドームとして形成される、請求項 1 に記載の貯蔵袋。

【請求項 9】

前記側壁の少なくとも一つが、高密度ポリエチレン、低密度ポリエチレン、ポリプロピレン、エチレン酢酸ビニル、ナイロン、ポリエステル、ポリアミド、およびエチレンビニルアルコールから成るグループから選択された材料で構成された、請求項 1 に記載の貯蔵袋。

【請求項 10】

貯蔵袋であって、

内部容積を与える柔軟な側壁と、

前記柔軟な側壁に取り付けられ、前記内部空間と連通する逆止め弁要素と、
を含み、

前記逆止め弁要素は、真空ノズルと解除可能に係合するロック構造を有し、

前記側壁は高い弾性の領域を含み、

前記逆止め弁要素は前記領域に取り付けられ、

前記領域は弾力的回復状態と弾力的拡張状態との間で調整可能であり、

前記領域は弾力的拡張状態にあるとき、前記側壁から前記弁要素を離間させ、前記逆止め弁要素は、弾力的回復状態にあるとき、前記側壁の平面内にある、
ことを特徴とする貯蔵袋。

【請求項 11】

貯蔵袋であって、

底縁、左側縁、右側縁および上縁を有する第 1 の側壁と、

底縁、左側縁、右側縁および上縁を有する第 2 の側壁と、

ここで、内部容積を画定するために、前記第 2 の側壁の底縁、左側縁、右側縁および上縁は前記第 1 の底縁、左側縁、右側縁および上縁とそれぞれ接合しており、

前記第 1 の側壁は、高い弾性の領域を含むパネルを画定し、さらに回復状態と拡張状態との間で調整可能なものであり、

前記領域に取り付けられ、前記内部領域と連通する逆止め弁要素と、
を含み、

前記領域は弾力的拡張状態にあるとき、前記第 1 の側壁から前記弁要素を離間させ、

前記領域と前記逆止め弁要素は、回復状態にあるとき、ほぼ前記第 1 の側壁の平面内にある、
ことを特徴とする貯蔵袋。

【請求項 12】

貯蔵袋であって、

内部容積を提供する柔軟な側壁と、

前記内部容積と連通する逆止め弁要素と、
前記逆止め弁要素を前記側壁に接続する分離器と、
を含み、

前記分離器は、前記側壁に取り付けられた基部端と閉じた遠位端との間に延在する細長い管状体を有し、

前記分離器は、拡張状態と折り畳み状態との間で調整可能であり、折り畳み状態にあるとき、前記管状体は前記側壁に対して折り重なる、
ことを特徴とする貯蔵袋。